

～JOCジュニアオリンピックカップ～ 全国中学生なぎなた大会優勝！

7月24～25日、鹿児島市西原商会アリーナで全国中学生なぎなた大会が開催されました。この大会で、川辺中学校3年生の早川美優羽さん、西星良さんが演技競技の部で優勝しました。

競技演技の部に全国から63組の参加がありトーナメント方式で行われました。全国大会で演技競技の部での優勝は県内でも初めてで喜びの表彰台でした。



▲全国の舞台上で優勝した早川美優羽さん（右）、西星良さん（中央）、顧問の荻田真希先生（左）

～駐日ドミニカ共和国大使が本市を訪問～ 颯娃地域の耳原自治会にルーツ！

7月5日、ドミニカ共和国のロバート・タカタ駐日大使が本市を訪問しました。

大使の祖父母と父が本市颯娃町別府の耳原自治会から同国に移住されたご縁で、今回の市長表敬訪問と耳原自治会で親族との面会や先祖の墓参りとなったものです。

大使は「祖父母と父の原点に出会い、温かい歓迎に感激しました」と話しました。



▲ドミニカ共和国のロバート・タカタ駐日大使（左）が訪問しました

～カブトムシと遊ぶ子どもフェスタ(霜出地区)～ 親子でカブトムシ五輪！

8月1日、霜出地区公民館でカブトムシと遊ぶ子どもフェスタが開かれました。

霜出地区では地域の人材をサポートする「夢サポート事業」を実施しており、今回は自宅でカブトムシを飼育する前田洋次さんの夢を実現する形で実施されました。

小学生28人と子どもの家族が自慢のカブトムシによる相撲、木登り、綱引きを楽しみました。



▲カブトムシ相撲を楽しむ子どもら

～かごしま国体、2023年に延期～ 市内小中学校に国体PRグッズを配布

7月14日、知覧小学校6年生に、国体についての授業を行った後、市長、教育長、お茶むらいなどにより国体グッズの寄贈を行いました。

これは、2023年に延期されました、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の気運醸成を再び高めるため、市内小中20校の全児童生徒2,332人に国体PRグッズ（消毒用ウェットティッシュやクリアファイルなど）を配布しました。



▲国体PRグッズを受け取る知覧小6年生の児童ら

～新規就農者励ましの会～

新規就農者を励ました！

7月6日、南薩地域振興局ほかJAなどの関係機関出席のもと、新規就農者励ましの会が川辺文化会館で開催されました。

市長が「若い農業者の就農は大変心強く、今後における地域の期待も大きい。農業に対する大きな夢と誇りを持って、経営に励み、地域の環境を活かしながら、多様化する消費者ニーズに対応し、柔軟な発想で競争力のある農業経営を進めて欲しい」と、激励の言葉を贈りました。



▲新規就農者5人（前列）と各関係機関の皆さん

～居酒屋かんたソフトボールクラブチーム～

日本スポーツマスターズ2021出場！

6月19日～20日に開催された第36回全日本壮年（40歳以上）男子ソフトボール大会鹿児島県予選で、居酒屋かんたソフトボールクラブチームが準優勝しました。

チームは、20～50歳代の30人で練習に励んでおり、創部8年目で初の全国大会出場権を獲得しました。

日本スポーツマスターズ大会は9月18日～21日に岡山県新見市で開催されます。



▲全国大会に出場する居酒屋かんたソフトボールクラブチーム

～県美展入選作品「トワイライト」を寄贈～

この景観を見に訪れてほしい

7月2日、頴娃町郡の田之上幸弘さんが第67回県美展南薩地区展で入選となった作品を市に寄贈しました。

この作品は、頴娃町郡の大久保自治会から浜村自治会を望むJR指宿枕崎線の鉄道橋の風景を撮影した写真です。

田之上さんは「写真の景観を見て実際に訪問してくれば」と話しました。

この作品は、頴娃庁舎ロビーでご覧いただけます。



▲県美展入選作品を寄贈した田之上幸弘さん（右）

～人権擁護委員委嘱状伝達式～

法務大臣から「人権擁護委員」を委嘱

市の人権擁護委員として、法務大臣から宮内健義さん新原誠さんに再任、茅野良信さんに新任の委嘱がなされました。

委嘱を受けた宮内さん、新原さんは、「これまでの経験を活かし今後も活動していきたい」と抱負を話しました。

市では現在9人が人権擁護委員として委嘱され、地域の皆さんからの人権相談や、人権侵害被害者の救済、人権啓発活動などを行っています。



▲人権擁護委員の委嘱を受けた新原誠さん（左）と宮内健義さん（右）